

岩手県における続縄文文化の土器と墓制

井上雅孝（滝沢市埋蔵文化財センター）

I 遺跡の分布

岩手県において、続縄文土器（後北 C2-D 式・北大 I・Ⅲ）が出土する遺跡は、現段階で約 75 遺跡を数える（表 2）。そのうち後北 C2-D 式土器が出土する遺跡は 62 遺跡で、主に表採もしくは遺構外が多いが、滝沢市大石渡 V 遺跡の焼土群、盛岡市永福寺山遺跡・安倍館遺跡、滝沢市仏沢Ⅲ遺跡・大石渡遺跡、九戸村長興寺Ⅰ遺跡などの土壌墓のように続縄文に関する遺構も確認されている。北大Ⅰ式土器が出土する遺跡は 15 遺跡、北大Ⅲ式土器が出土する遺跡は 1 遺跡となっている。分布は主に北上川上流域である盛岡市・滝沢市周辺に集中する（図 1）。

II 岩手県の続縄文土器出土状況

岩手県内の続縄文土器は、後北 C2-D 式土器、北大Ⅰ式土器、北大Ⅲ式土器の出土が確認されており、後北 C2-D 式以前の後北 CⅠ式土器、縄文と沈線で構成される北大Ⅱ式土器は現段階では出土事例がない。

続縄文土器を段階的にみると、後北 C2-D 式前葉の出土事例は少ないが（岩泉町豊岡 V 遺跡 H-4 住居跡）、中葉から後葉（段階区分は PⅠ鈴木表Ⅰ-Ⅰ参照）、その後の北大Ⅰ式土器にかけての出土事例が多い（現段階で 73 遺跡、表参照）。

北東北では北大Ⅰ式以降、北大式の深鉢と在地土師器が融合した「東北北部型土師器」が出現し（宇部 2021）、北大Ⅱ式以降の続縄文土器の出土がみられなくなる。ただし岩手県滝沢市高柳遺跡竪穴住居跡（Dh63 住・Ea60 住・Di72 住）では、北大Ⅲ式土器が唯一確認されているが、一般的な存在傾向を示すものではないとの指摘がある（木村 2011）。

表 1 続縄文土器出土状況

年代	続縄文土器		在地土器	出土状況	遺跡名
2 世紀	後北 C1 式土器		湯舟沢式	×	
3 世紀	後北 C2-D 式土器	前	赤穴式	△	豊岡Ⅴ遺跡
3 世紀後半～ 4 世紀		中	赤穴式・ 塩釜式	○	大日向Ⅱ遺跡、古館山遺跡、長興寺Ⅰ遺跡、永福寺山遺跡、安倍館遺跡、湯舟沢遺跡、大石渡遺跡、大石渡Ⅴ遺跡他
		後	塩釜式	○	仏沢Ⅲ遺跡、中長内遺跡他
5 世紀	北大Ⅰ式土器		南小泉式	○	大久保遺跡、宿田遺跡他
			引田式		仁沢瀬Ⅱ遺跡他
6 世紀	北大Ⅱ式土器		住社式	×	
7 世紀	北大Ⅲ式土器		栗圀式	△	高柳遺跡

×無（出土土器事例無）、△少（出土土器事例 1 遺跡）、○多（出土土器事例 10 遺跡以上）

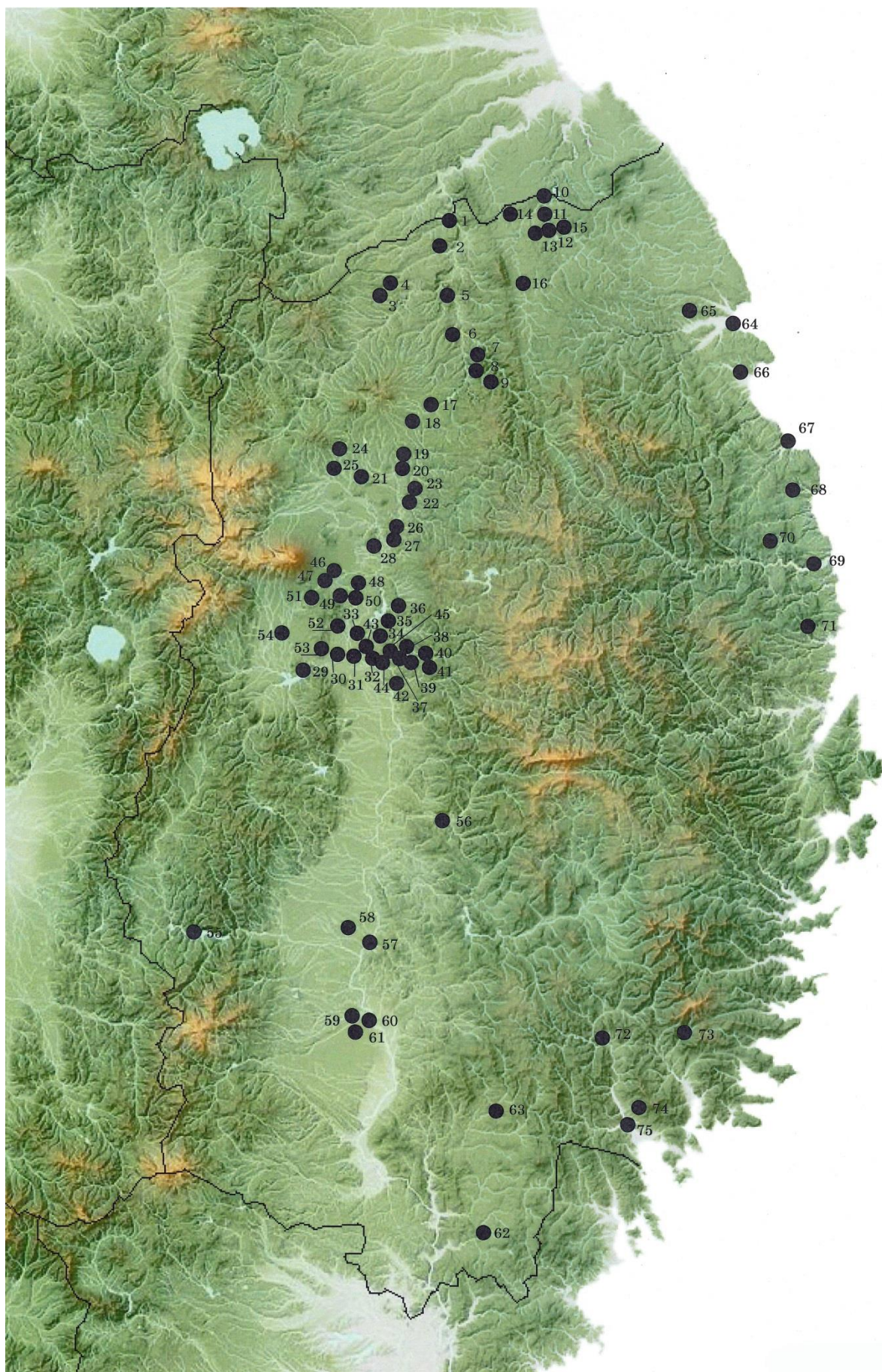


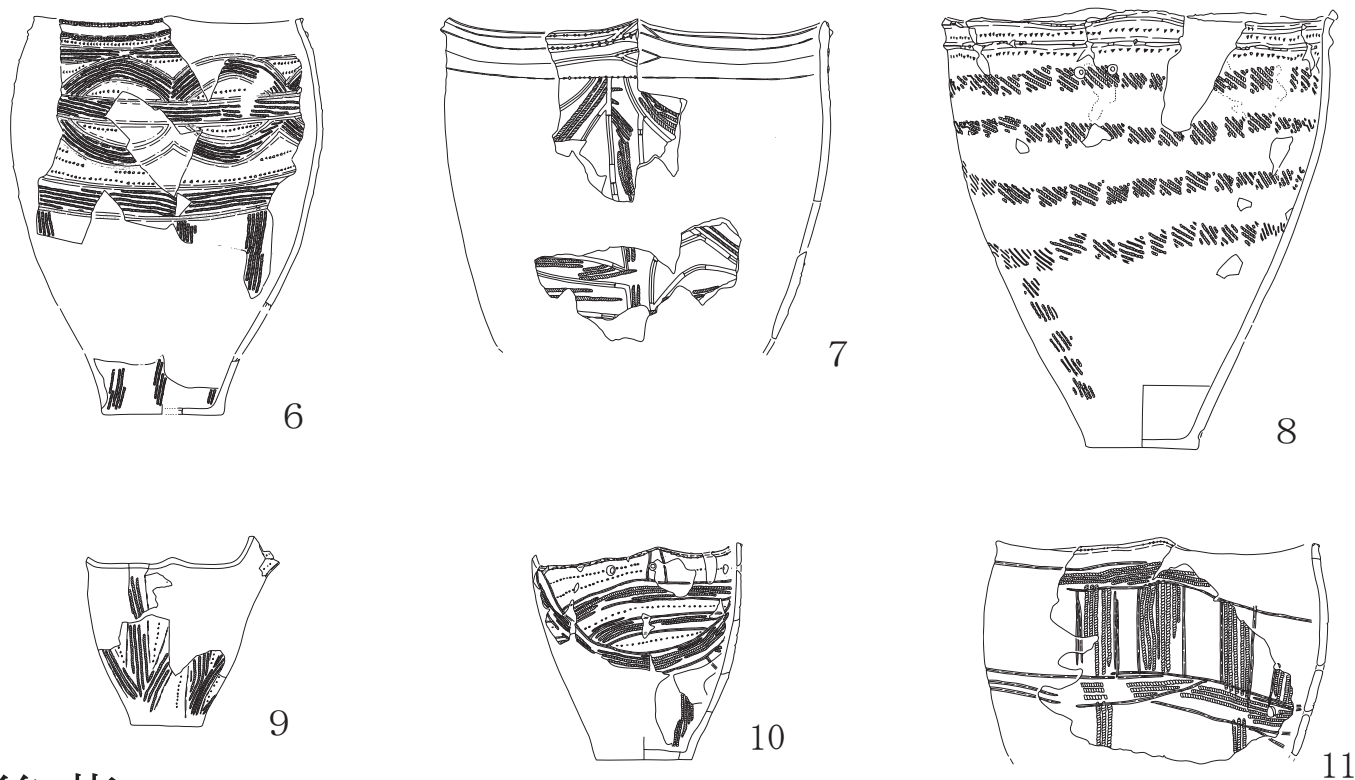
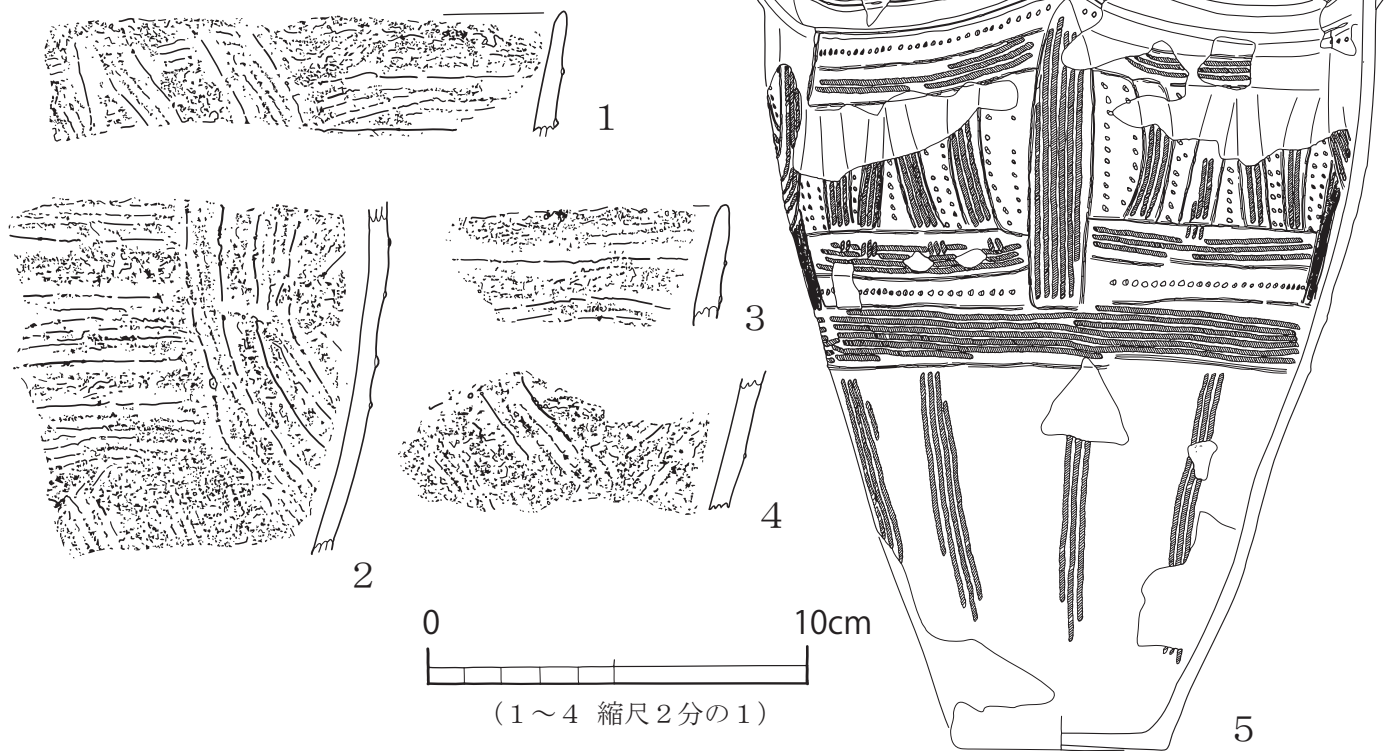
図1 岩手県縄文土器出土遺跡分布図（遺跡番号は表4のとおり）

表2 岩手県統縄文土器(後北C2-D式・北大Ⅰ～Ⅲ)出土遺跡一覧(網掛 遺構が確認された遺跡)

市町村名	No	遺跡名	遺構	統縄文				弥生	古墳			遺物				備考	文献
				後北C2-D式	北大Ⅰ式	北大Ⅱ式	北大Ⅲ式		赤穴式	埴釜式	南小泉式～引戸式	栗岡式	装飾品(管玉・土)	鉄製品	石器(磨石等)		
二戸市	001	釜沢遺跡	表探	○												(高橋・武田1982)	
	002	長瀬B遺跡	遺構外	○												((財)岩手県1982)	
	003	西久保遺跡	遺構外	○												((財)岩手県1988)	
	004	大久保遺跡	遺構外		○							○				((財)岩手県1988)	
一戸町	005	親久保Ⅱ遺跡	遺構外	○				○								((財)岩手県1987)	
	006	東火行Ⅴ遺跡	表探	○?												(一戸町1994)	
	007	大畑2遺跡	表探		○											(一戸町1995)	
	008	大畑4遺跡	表探		○											(一戸町1995)	
	009	大加口遺跡	表探		○						○?					(一戸町1995)	
軽米町	010	諏訪森遺跡	表探	○												(高橋・武田1982)	
	011	駒木遺跡	表探	○												(高橋・武田1982)	
	012	叭屋敷Ⅰa遺跡	遺構外	○												((財)岩手県1983)	
	013	馬場野Ⅱ遺跡	遺構外	○?				○								本文での記述のみ ((財)岩手県1986)	
	014	紙口Ⅰ遺跡	遺構外	○												((財)岩手県1992)	
	015	大日向Ⅱ遺跡	旧河川他	○	○			○								((財)岩手県1995・1998)	
九戸村	016	長興寺Ⅰ遺跡	土墳墓	○				○			○	○				((財)岩手県2002)	
岩手町	017	御堂観音上遺跡	表探	○												(高橋・武田1982)	
	018	小山沢Ⅰ遺跡	表探	○												(高橋・武田1982)	
	019	苗代沢C遺跡	表探	○												(高橋・武田1982)	
	020	大袋遺跡	表探	○												(高橋・武田1982)	
	021	稲荷山遺跡	表探	○												(高橋・武田1982)	
	022	川口Ⅰ遺跡	遺構外	○				○								((財)岩手県1984)	
	023	小清水遺跡	表探	○												(岩手町2002)	
八幡平市	024	暮坪遺跡	表探		○											(高橋・武田1982)	
	025	上斗内Ⅲ遺跡	遺構外		○											((財)岩手県1984)	
盛岡市	026	芋田Ⅱ遺跡	遺構外	○												((財)岩手県1999)	
	027	武造遺跡	表探	○												(高橋・武田1982)	
	028	下田八幡館(牡丹野)遺跡	表探	○												(高橋・武田1982)	
	029	紫Ⅴ遺跡	遺構外	○				○								(盛岡市1995)	
	030	猪去館遺跡	遺構外	○												(盛岡市1989)	
	031	月見山(月山)遺跡	表探	○												(高橋・武田1982)	
	032	台太郎遺跡	遺構外					○								(盛岡市1987)	
	033	安倍館遺跡	土坑跡	○					○	○				○		(盛岡市1999)	
	034	永福寺山遺跡	土墳墓	○					○	○		○	○			(盛岡市1997)	
	035	厩牛場遺跡	表探	○												(高橋・武田1982)	
	036	向館遺跡	遺構外	○												((財)岩手県1994)	
	037	前野遺跡	遺構外	○					○							(盛岡市1997)	
	038	堰根遺跡	遺構外	○					○							(盛岡市2008)	
	039	岩山南遺跡	遺構外	○					○							(盛岡市1986)	
	040	八木田Ⅳ遺跡	遺構外	○					○	○?						((財)岩手県1992)	
	041	川目A遺跡	表探	○												(高橋・武田1982)	
	042	乙部方八丁遺跡	表探	○												(高橋・武田1982)	
	043	宿田遺跡	遺構外(土墳墓?)			○					○				○	宇田型墓 (盛岡市2002)・(井上・早野2013)	
	044	大塚遺跡	遺構外		○				○							(盛岡市1997)	
	045	薬師社跡遺跡	土墳墓							○	○		○	○		統縄文土器出土無 (花井2002)	
滝沢市	046	大石渡Ⅴ遺跡	焼土群	○					○	○				○	○	(井上1996)・(滝沢村2008)	
	047	大石渡遺跡	土墳墓	○						○?		○		○	○	(滝沢村1993)	
	048	湯舟沢Ⅲ遺跡	遺構外	○					○							(滝沢村1986)	
	049	湯舟沢Ⅴ遺跡	遺構外	○					○							(滝沢村1986)	
	050	室小路遺跡	遺構外	○					○							(滝沢村1999)	
	051	仏沢Ⅲ遺跡	土墳墓	○					○	○					○	(滝沢村2008)	
雫石町	052	高柳遺跡	堅穴遺物跡				○					○		○		(滝沢村1987)	
	053	仁沢Ⅱ遺跡	土墳墓跡	○	○						○			○	遺構は古墳中期 ((財)岩手県1993)		
054	早坂森遺跡	表探	○													(高橋・武田1982)	
西和賀町	055	簗の黒川遺跡	表探	○												(高橋・武田1982)	
花巻市	056	大林Ⅱ遺跡	遺構外			○										(大迫2000)	
北上市	057	館Ⅳ遺跡	遺構外	○					○							((財)岩手県1993)	
	058	本宿遺跡	土坑跡	○												(北上市1996)	
奥州市	059	中半入遺跡	遺構外	○	○				○	○	○	○		○	○	石製模造品出土 ((財)岩手県2002)	
	060	石田遺跡	土坑跡?			○					○?					(岩手県1981)	
	061	沢田遺跡	土墳墓跡			○						○	○	○	○	中期～後期の群集墓 ((公財)岩手県2014)	
一関市	062	大浜B遺跡	表探	○												(高橋・武田1982)	
	063	大洞地遺跡	遺構外	○	○										○	(大東町2004)	
久慈市	064	中長内遺跡	土坑跡	○					○							(久慈市1988)	
	065	新町遺跡	遺構外	○					○	○	○					((財)岩手県2009)	
野田村	066	古館山遺跡	遺構外	○					○					○		(野田村1987)	
菅代村	067	太田名部遺跡	遺構外						○							(菅代村1998)	
田野畑村	068	大芦遺跡	表探	○												(高橋・武田1982)	
岩泉町	069	豊岡Ⅴ遺跡	堅穴遺物跡	○					○				○(鉄滓)?		○	堅穴は弥生 (岩泉町2006)	
	070	赤穴洞穴	洞穴内	○					○							(小田野1987)・(日下2010)	
宮古市	071	新田平遺跡	表探	○												(高橋・武田1982)	
住田町	072	小松洞穴	第2洞穴表土	○					○							(岩手県立博物館2000)	
大船渡市	073	上鷹生遺跡	遺物包含層	○					○							((財)岩手県1997)	
陸前高田市	074	西和野Ⅰ遺跡	流れ込み	○					○							((公財)岩手県2017)	
	075	愛宕下Ⅱ遺跡	遺構外	○					○							(陸前高田市2016)	

前葉

中葉



後葉

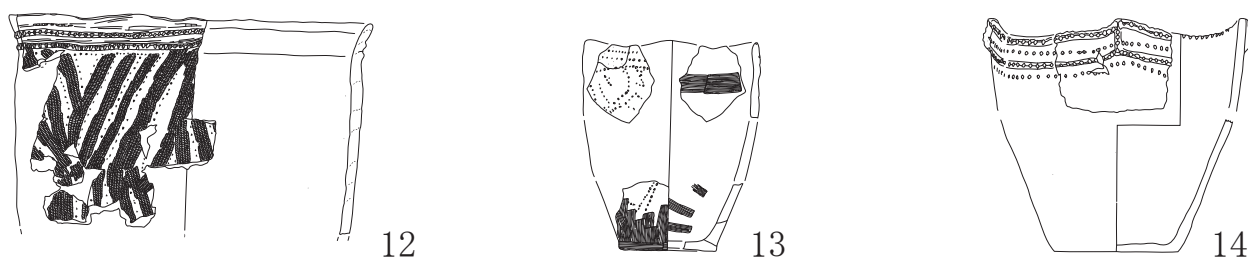
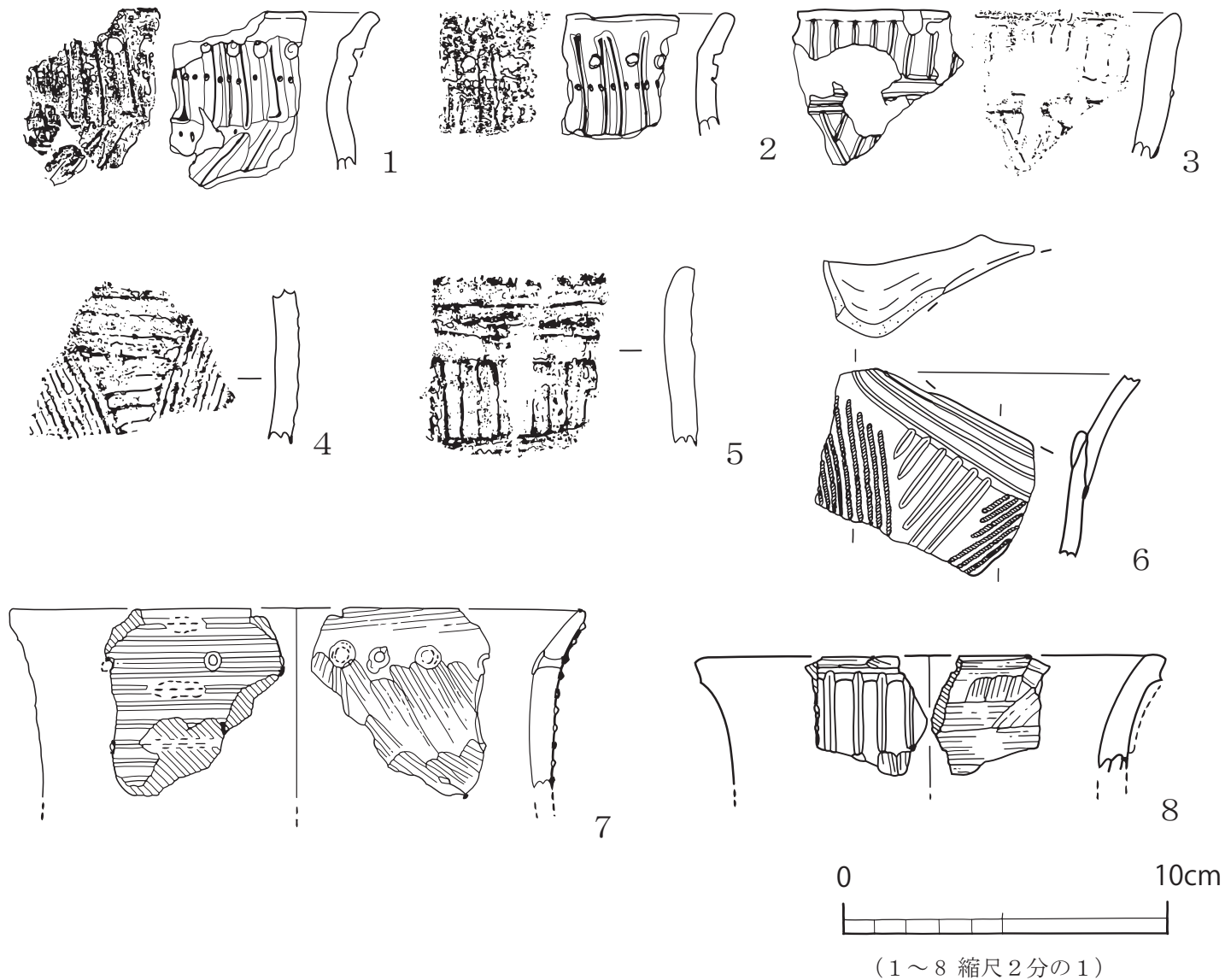


図2 岩手県出土の後北 C2-D 式土器



(5~14 縮尺6分の1)

北大Ⅰ式土器



北大Ⅲ式土器

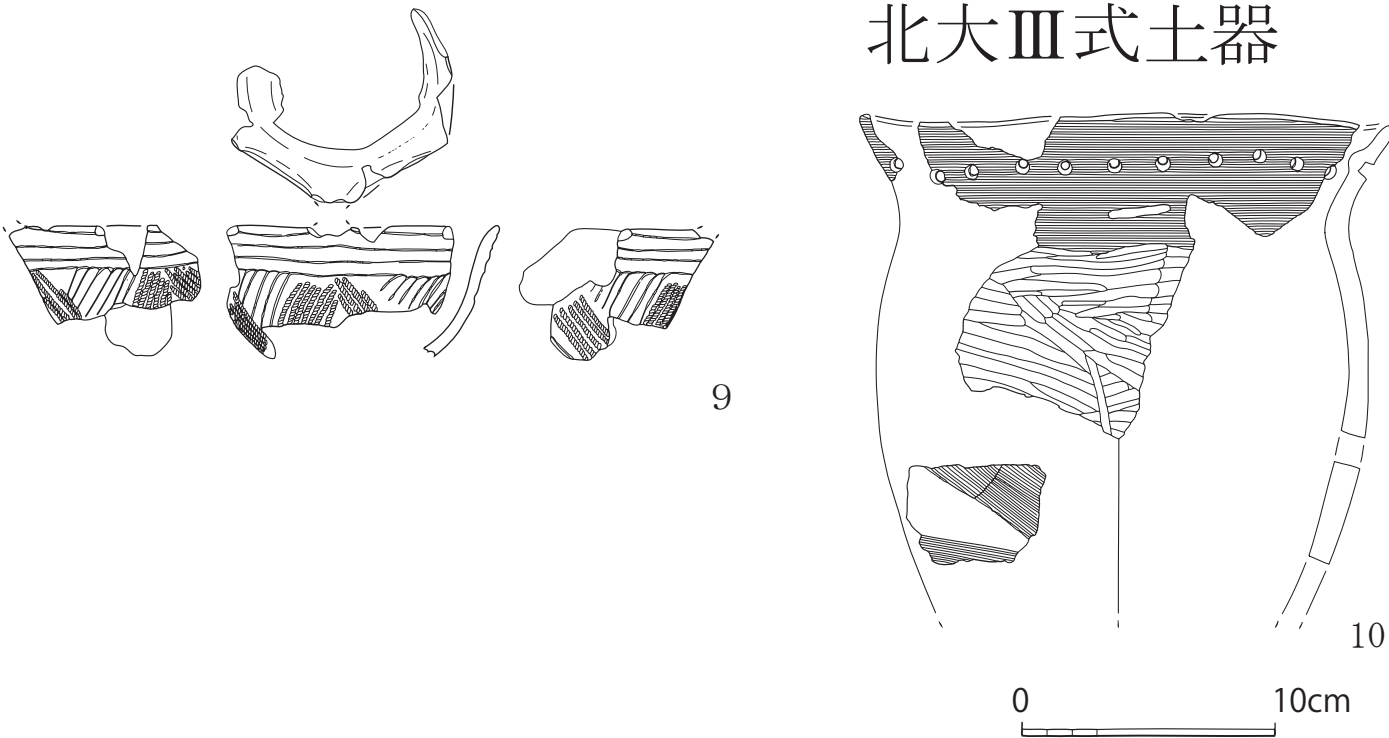
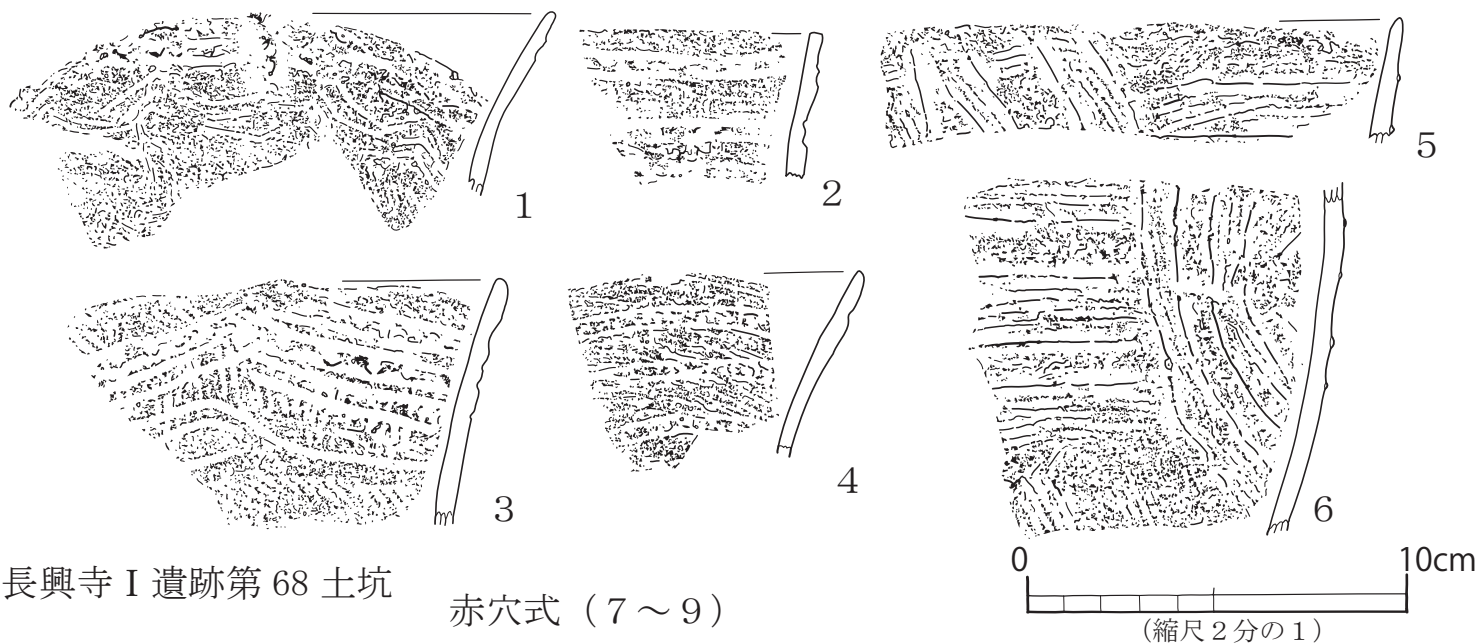


図3 岩手県出土の北大式土器(Ⅰ・Ⅲ式)

豊岡V遺跡 H-4 住居跡

赤穴式 (1~4)

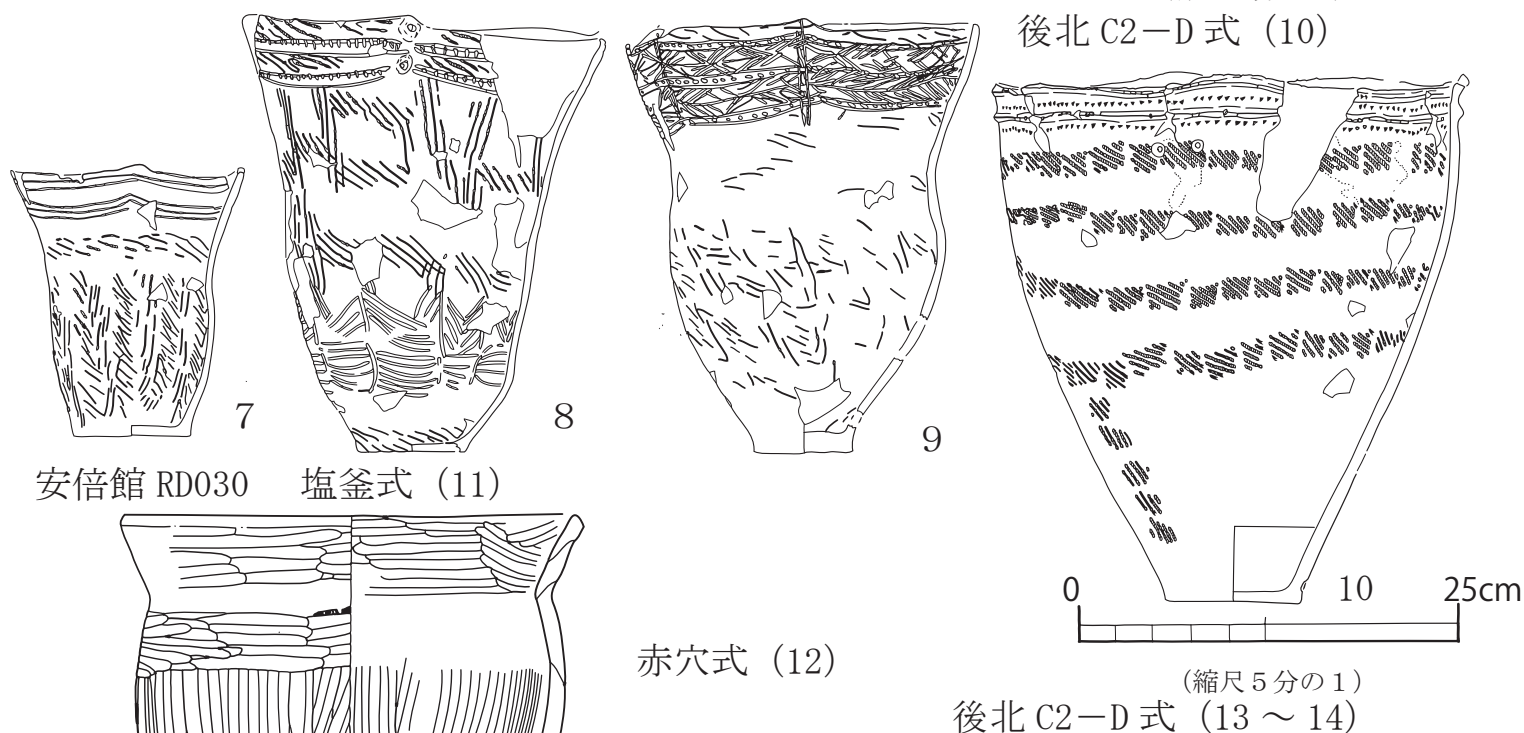
後北 C2-D 式 (5~6)



長興寺 I 遺跡第 68 土坑

赤穴式 (7~9)

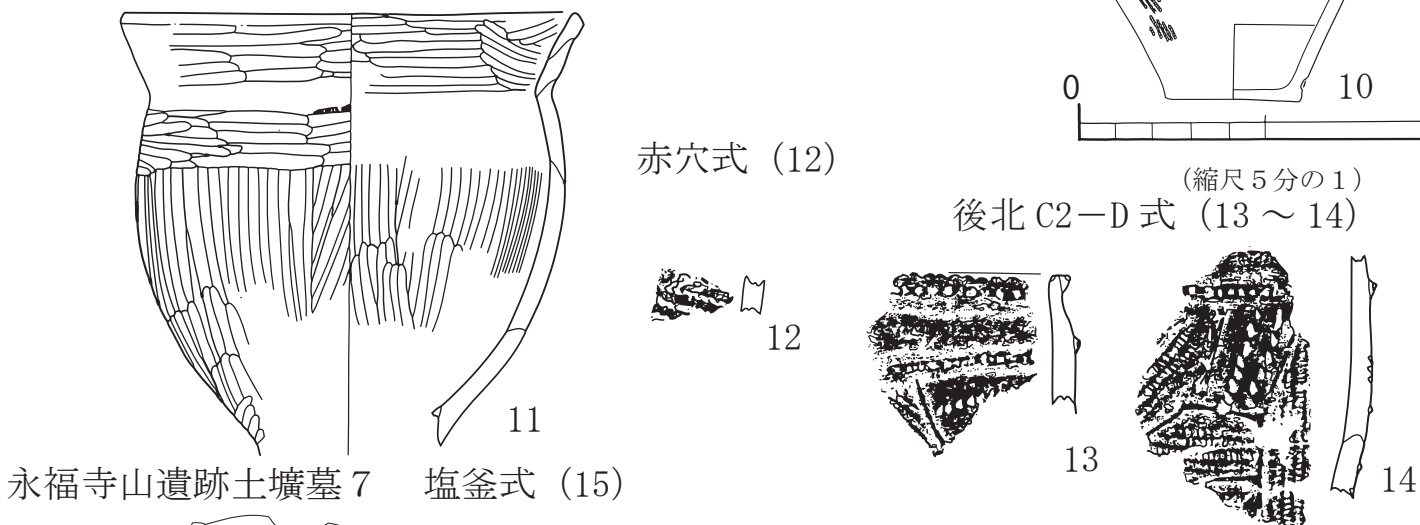
後北 C2-D 式 (10)



安倍館 RD030 塩釜式 (11)

赤穴式 (12)

後北 C2-D 式 (13~14)



永福寺山遺跡土壙墓 7 塩釜式 (15)

後北 C2-D 式 (16)

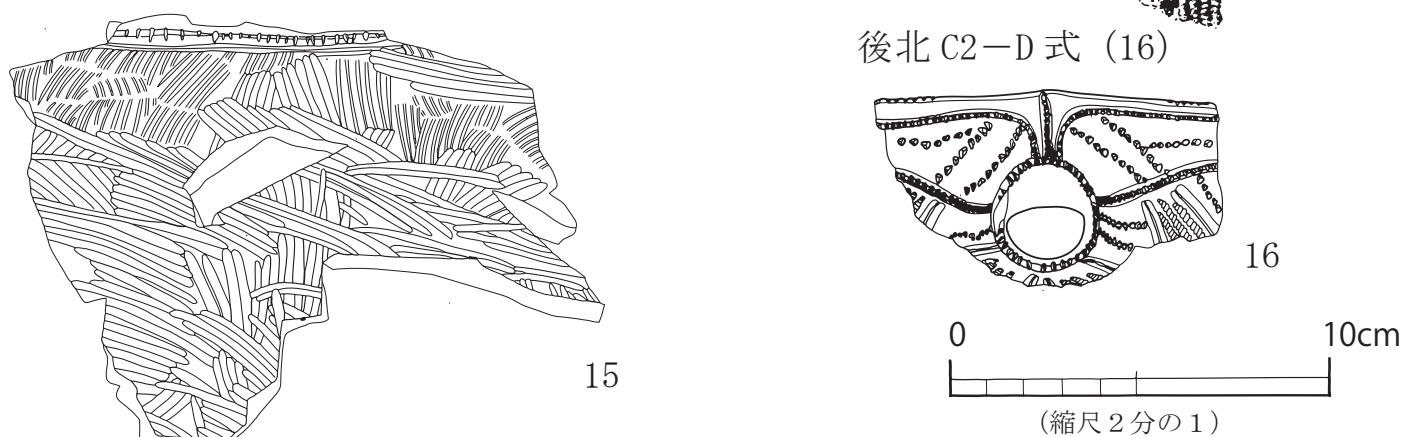
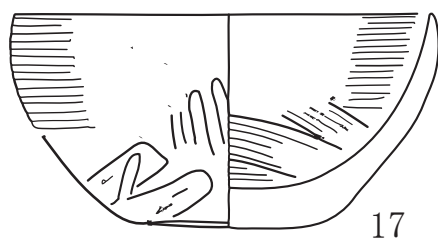
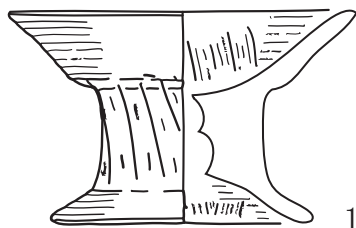


図 4 岩手県出土の続縄文土器共伴関係 (1)

沢田遺跡 1 号土坑
南小泉式 (17 ~ 18)

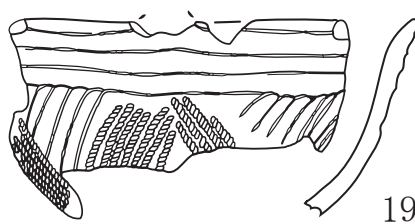


17



18

北大 I 式 (19)



19

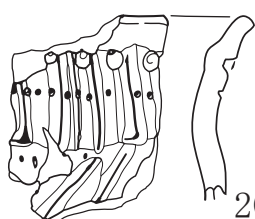


(縮尺 2 分の 1)

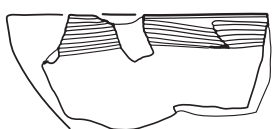
宿田遺跡

北大 I 式 (20 ~ 21)

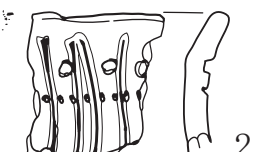
南小泉式 (22 ~ 23)



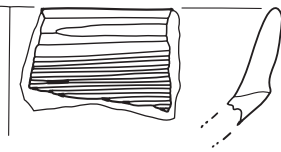
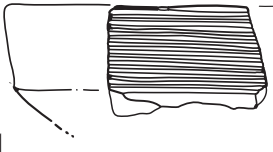
20



22

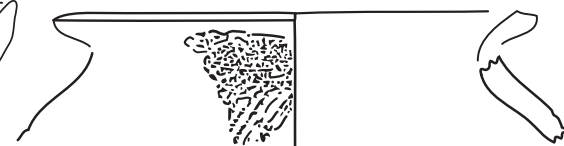


21



23

宇田型甕 (24)

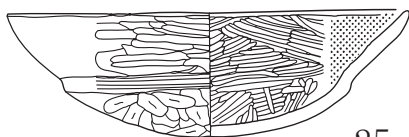


24

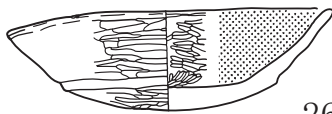


(縮尺 2 分の 1)

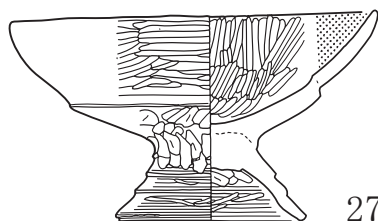
高柳遺跡 Dh63 竪穴住居跡他
栗圀式 (25 ~ 30)



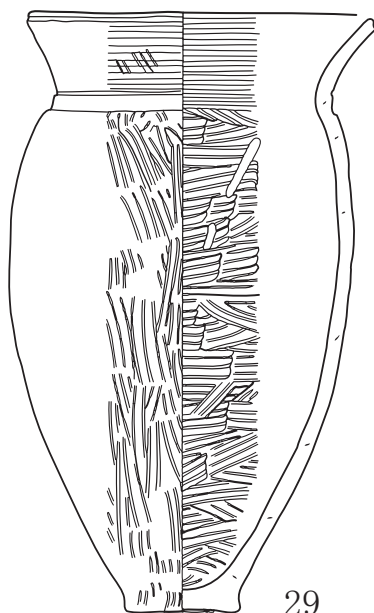
25



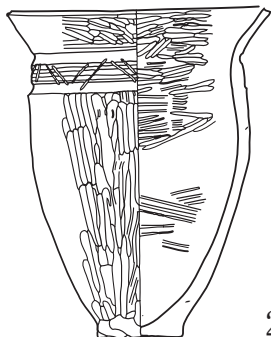
26



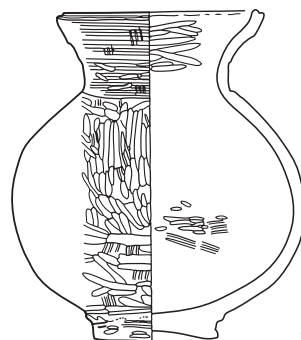
27



29

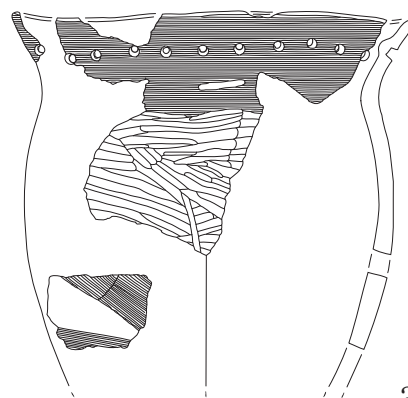


28



30

北大 III 式 (31)



31



(縮尺 4 分の 1)

図 5 岩手県出土の続縄文土器共伴関係 (2)

Ⅲ 続縄文土器の共伴関係

岩手県内で後北 C2-D 式土器と赤穴式土器の共伴事例は、岩泉町豊岡 V 遺跡 H-4 住居跡（後北 C2-D 式前葉段階）、岩手県九戸村長興寺 I 遺跡第 68 号土坑（後北 C2-D 式中葉段階）がある。

後北 C2-D 式土器、赤穴式土器、塩釜式の共伴事例は、盛岡市安倍館遺跡 R D 030 土坑で後北 C2-D 式中葉段階、塩釜式 1 式、盛岡市永福寺山遺跡土壇墓 1・2・3・5・7 で後北 C2-D 式中葉段階、塩釜式 1 式が出土している。ただし、後北 C2-D 式土器、塩釜式土器と比べ出土点数が少なく、赤穴式土器を混入と推定している（盛岡市 1997）。なお、木村高氏がすでに指摘しているとおり、赤穴式と塩釜式の共伴事例は皆無であり、赤穴式が土師器に移行した資料も確認できていない。3 世紀後半から 4 世紀紀前半？の期間に弥生土器の系譜を引く赤穴式土器、古墳時代前期の土師器である塩釜式、続縄文の後北 C2-D 式土器の三系統の土器が共存していた可能性も否定できない（木村 1999）。赤穴式土器の終末時期についてはまだ検討の余地がありそうである。5 世紀以降では、奥州市沢田遺跡 1 号土坑では北大 I 式土器と古墳時代中期の南小泉式土器、滝沢市高柳遺跡堅穴住居で北大 III 式土器と 7 世紀前葉の土師器である栗圀式土器が共伴している。なお、遺構外ではあるが、盛岡市宿田遺跡では、北大 I 式土器、南小泉式土器と東海系の土器「宇田型甕」が共伴しており、時期的（5 世紀前葉）にも整合する（井上・早野 2013）。

表 3 岩手県における続縄文土器共伴関係

遺跡名	遺構名	層位	続縄文	弥生	土師器	年代
豊岡 V 遺跡	H-4 住居跡	住居内	後北 C2-D 式期前葉	赤穴式		3 世紀前半
長興寺 I 遺跡	第 68 号土坑	土坑内	後北 C2-D 式期中葉	赤穴式		3 世紀後半
安倍館遺跡	R D 030 土坑	土坑内	後北 C2-D 式期中葉	赤穴式	塩釜式※ (1 式)	3 世紀後半 ～ 4 世紀前半
永福寺山遺跡	土壇墓 1	土壇内	後北 C2-D 式期中葉	赤穴式 ※	塩釜式 (1 式)	3 世紀後半 ～ 4 世紀前半
	土壇墓 2・3	土壇内	後北 C2-D 式期中葉	赤穴式	塩釜式 (1 式)	
	土壇墓 4	土壇内	後北 C2-D 式期中葉		塩釜式 (1 式)	
	土壇墓 5	土壇内	後北 C2-D 式期中葉	赤穴式	塩釜式 (1 式)	
	土壇墓 6	土壇内	後北 C2-D 式期中葉		塩釜式 (1 式)	
	土壇墓 7	土壇内	後北 C2-D 式期中葉	赤穴式	塩釜式 (1 式)	
沢田遺跡	1 号土坑	土坑内	北大 I 式		南小泉式	5 世紀前葉
高柳遺跡	D h 63 堅穴住居 E a 60 堅穴住居 D i 72 堅穴住居	住居内 3 層～ 4 層	北大 III 式		栗圀式	7 世紀前葉

※塩釜式編年（青山 2010）参照

※永福寺山遺跡土壇墓出土の赤穴式についてはトレンチの混入と推定している（盛岡市 1997）。

図 2 岩手県内出土の後北 C2-D 式

1～4：岩泉町豊岡 V 遺跡、5：軽米町大日向 II 遺跡、
6：野田村古館山遺跡、7：滝沢市湯舟沢 III 遺跡、
8：九戸村長興寺 I 遺跡、9：滝沢市大石渡遺跡、
10～11：滝沢市大石渡 V 遺跡、12～13：滝沢市仏沢 III
遺跡、14：久慈市中長内遺跡

図 3 岩手県内出土の北大式土器（I 式・III 式）

1～3：盛岡市宿田遺跡、4～5：奥州市石田遺跡、
6：奥州市中半入遺跡、7～8：二戸市大久保遺跡、
9：奥州市沢田遺跡、10：滝沢市高柳遺跡

Ⅳ 続縄文期の土壌墓

1 立地

標高の高い丘陵頂部もしくは緩斜面上に立地する（表 4）。

表 4 後北 C2-D 式期の土壌墓が確認された遺跡一覧

年代	時期	市町村名	遺跡名	土壌墓数	立地	標高（m）
3 世紀後半 ～ 4 世紀	後北 C2-D 式期・ 赤穴式・塩釜式併 行	九戸村	長興寺 I 遺跡	1	丘陵頂部斜面	363
		滝沢市	仏沢Ⅲ遺跡	6	丘陵緩斜面	180～240
			大石渡遺跡	3	丘陵緩斜面	225
		盛岡市	永福寺山遺跡	7	丘陵頂部斜面	150～200？
			安倍館遺跡	7	段丘緩斜面	145

2 土壌墓

3 世紀後半から 4 世紀にかけての土壌墓は、北海道の事例と同様に袋状ピットを持つタイプ（長興寺 I 遺跡、永福寺山遺跡）と付属施設を持たないタイプ（大石渡遺跡、仏沢Ⅲ遺跡、安倍館遺跡）に分かれる（図 9）。前者のタイプには、袋状ピットと土壌底面に土器等を埋納するが、後者のタイプには土壌上面に散布もしくは埋置しており、埋葬儀礼も異なる点が指摘される。5 世紀以降になると、雫石町仁沢瀬Ⅱ遺跡土壌墓、盛岡市薬師社脇遺跡土壌墓のように続縄文要素の袋状ピットは残存するものの、合口の土師器を埋葬するなど副葬品に続縄文関連の遺物が認められなくなる（仁沢瀬Ⅱ遺跡は土壌墓外より北大Ⅰ式土器出土）。ただし、一部には黒曜石製石器を散布する伝統も残っており、7 世紀代の北上市岩崎台地遺跡群の古墳まで残存するようである。

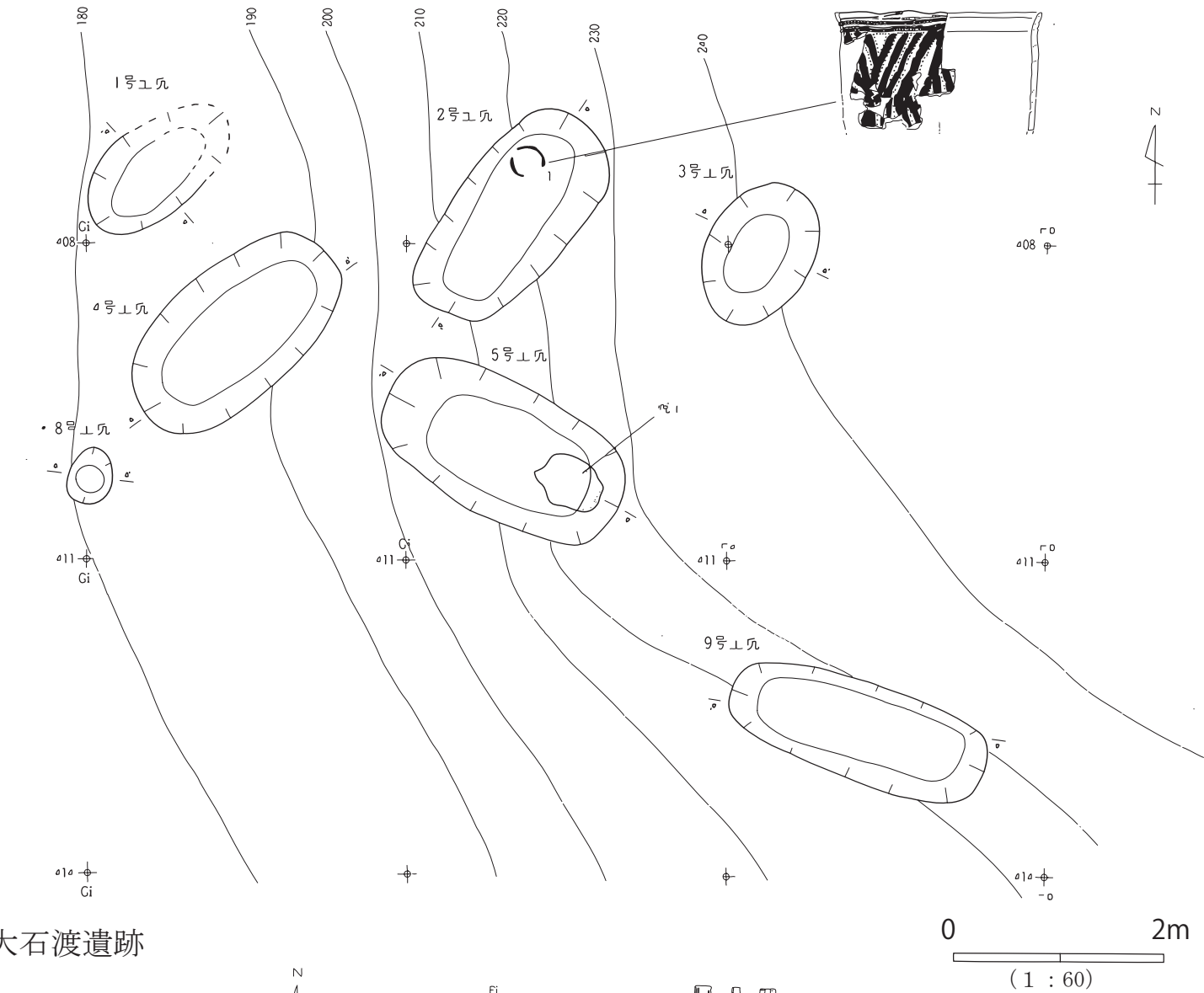
表 5 土壌墓出土遺物一覧

遺跡名	遺構名	土器の出土状況			出土遺物								
					土器			石器		管 玉	勾 玉	鉄製品	
		袋状ピット	上層	上面	後	赤	塩	黒	方			鎌	刀
長興寺 I	第 68 号土坑	○	○		○	○				○		○	
仏沢Ⅲ	第 2 号土坑			○	○								
大石渡	土壌 No15			○					○				
	土壌 No16			○	○			○					
	土壌 No17							○					
	土壌周辺									○			
永福寺山	土壌墓 1		○？	○？	○	○	○					○	
	土壌墓 2		○？	○？	○	○	○						
	土壌墓 3		○？	○？	○	○	○						○
	土壌墓 4		○？	○？	○		○						
	土壌墓 5		○？	○？	○	○	○						
	土壌墓 6		○？	○？	○		○						
	土壌墓 7		○？	○？	○	○	○						
	土壌周辺								○	○			

後-後北 C2-D 式、赤-赤穴式、塩-塩釜式、黒-黒曜石、方-方割石

※永福寺山遺跡土壌墓出土の赤穴式についてはトレンチの混入と推定している（盛岡市 1997）。

仏沢Ⅲ遺跡



大石渡遺跡

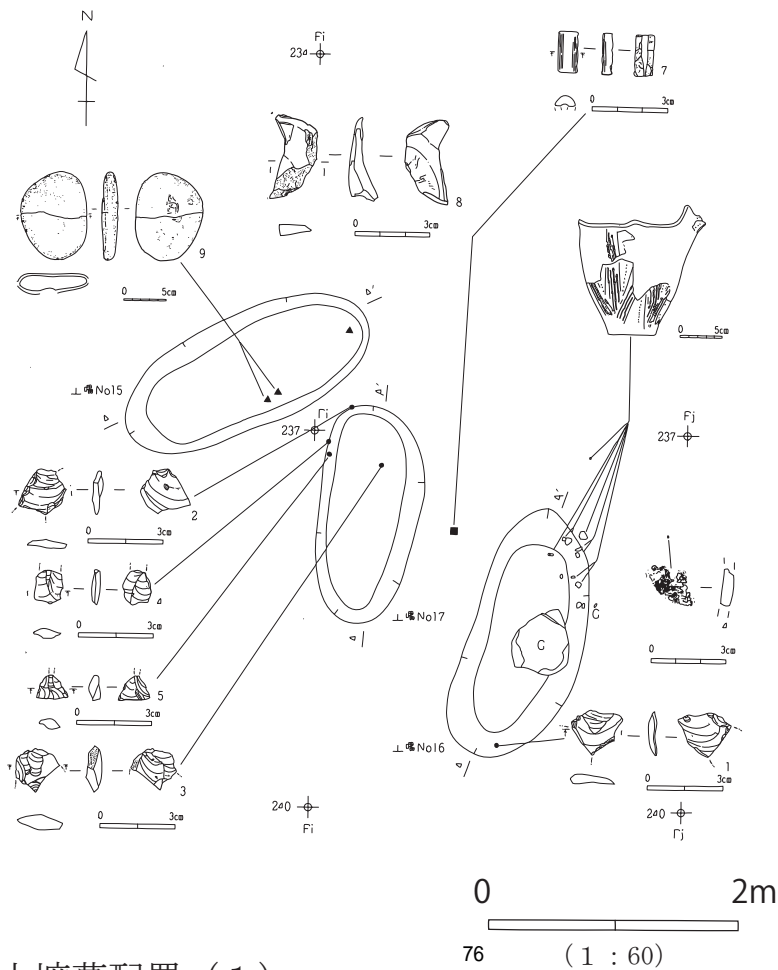
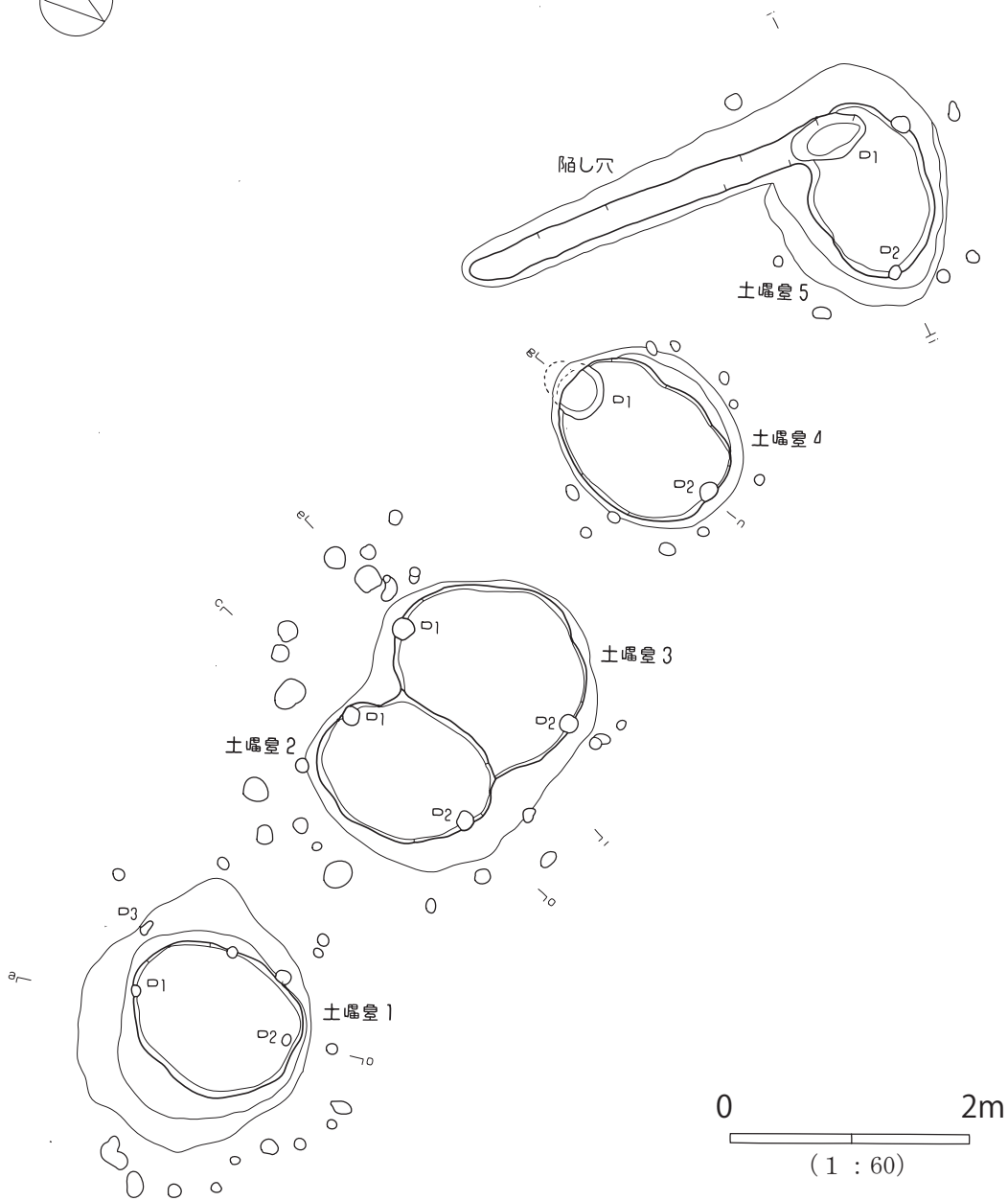


図6 続縄文の土墳墓配置 (1)



長興寺 I 遺跡第 68 土坑

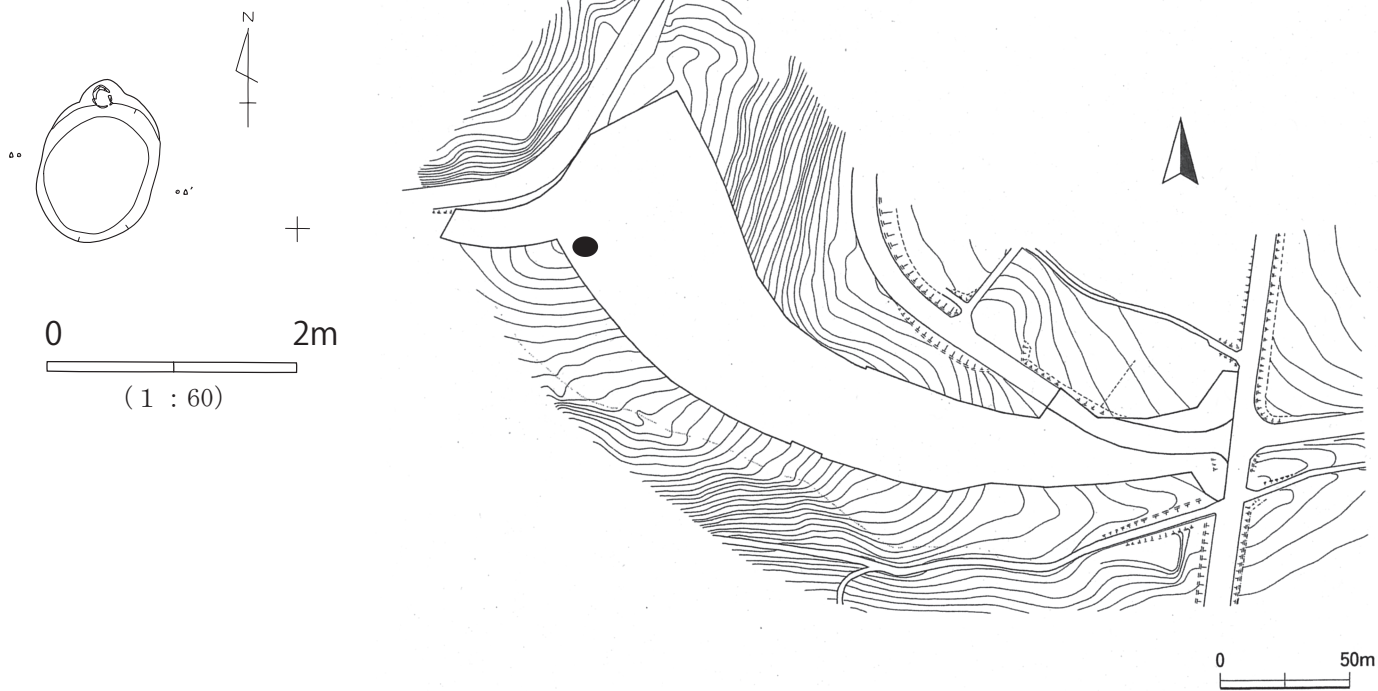
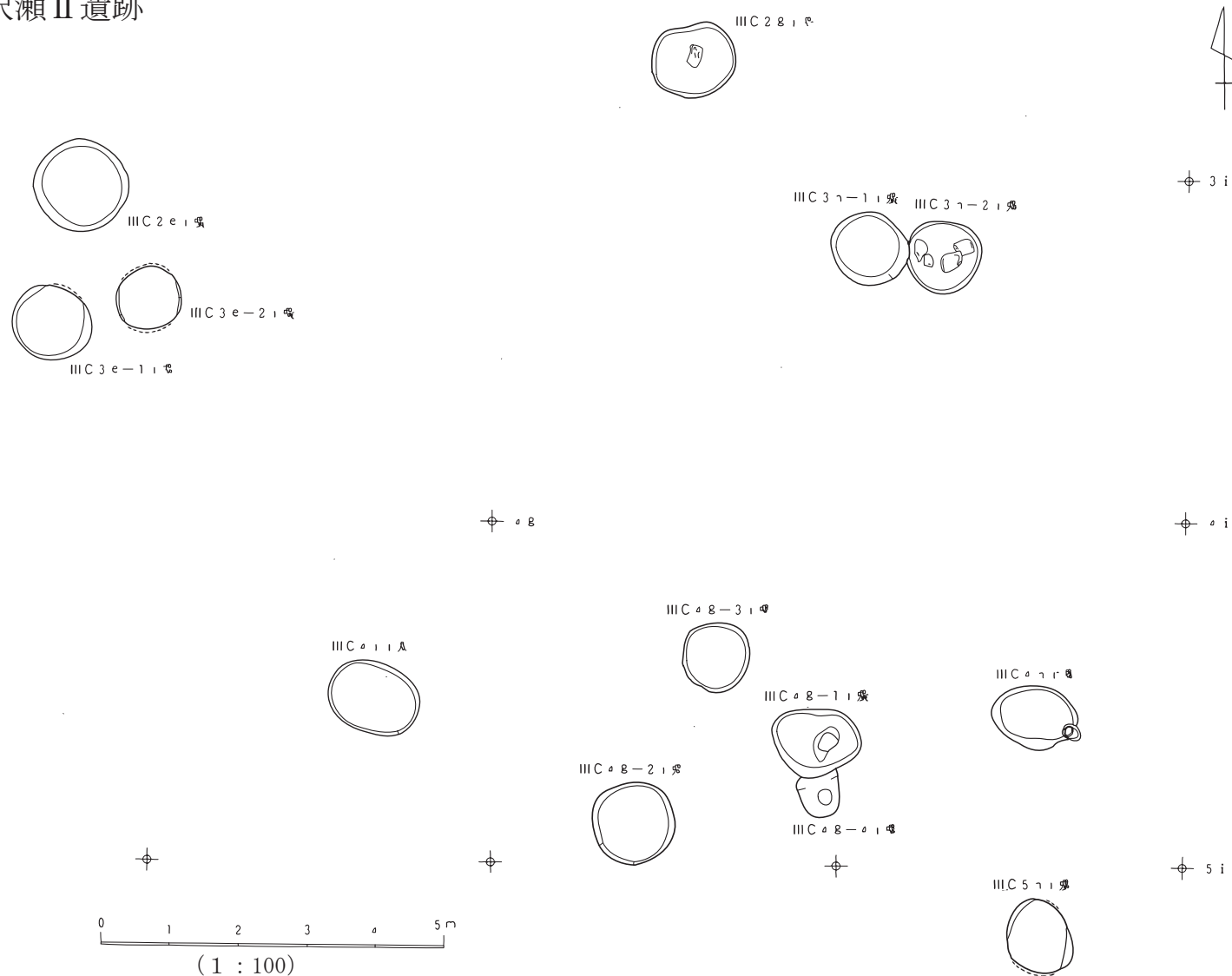


図 7 続縄文の土壇墓配置 (2)

仁沢瀬Ⅱ遺跡



薬師社脇遺跡

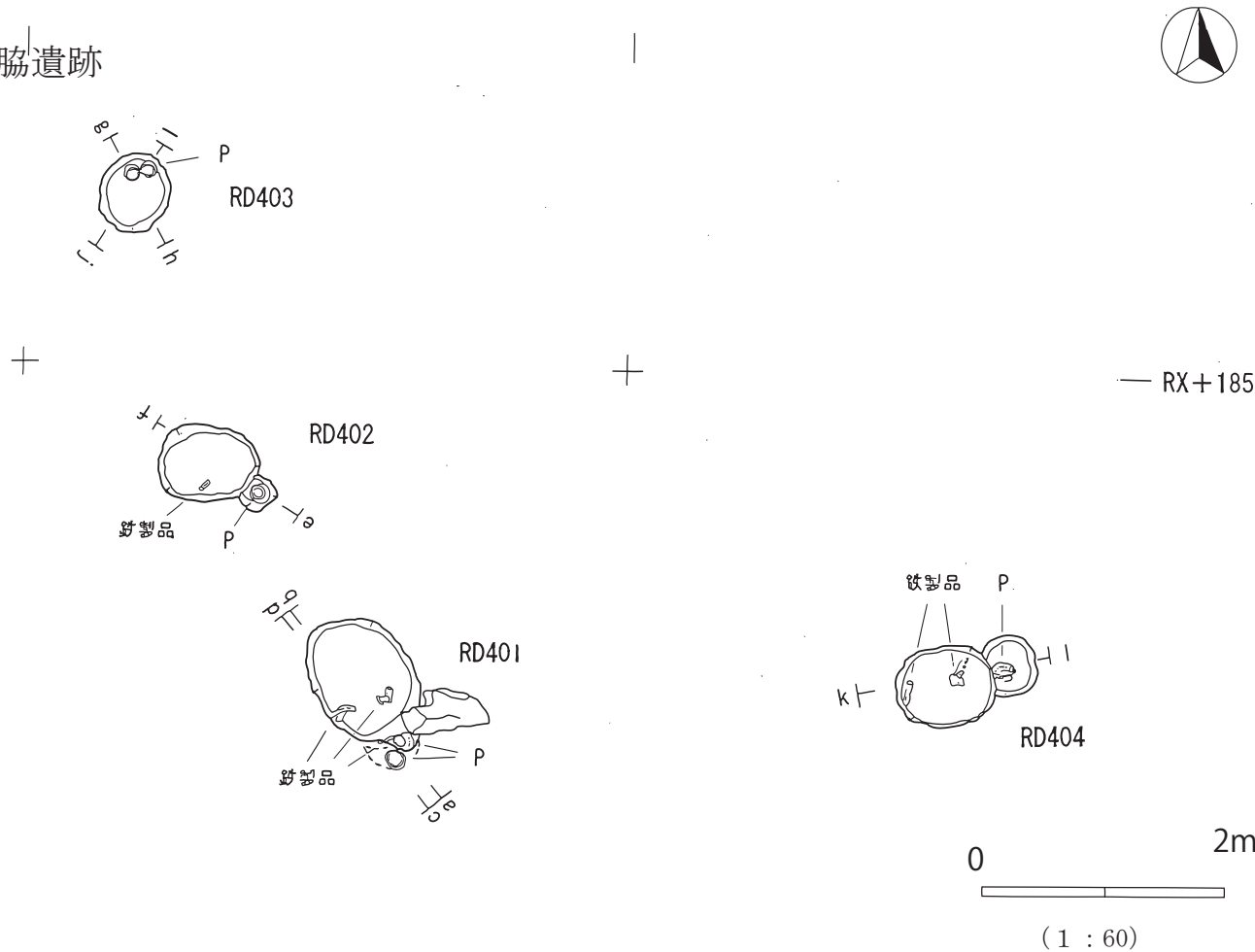
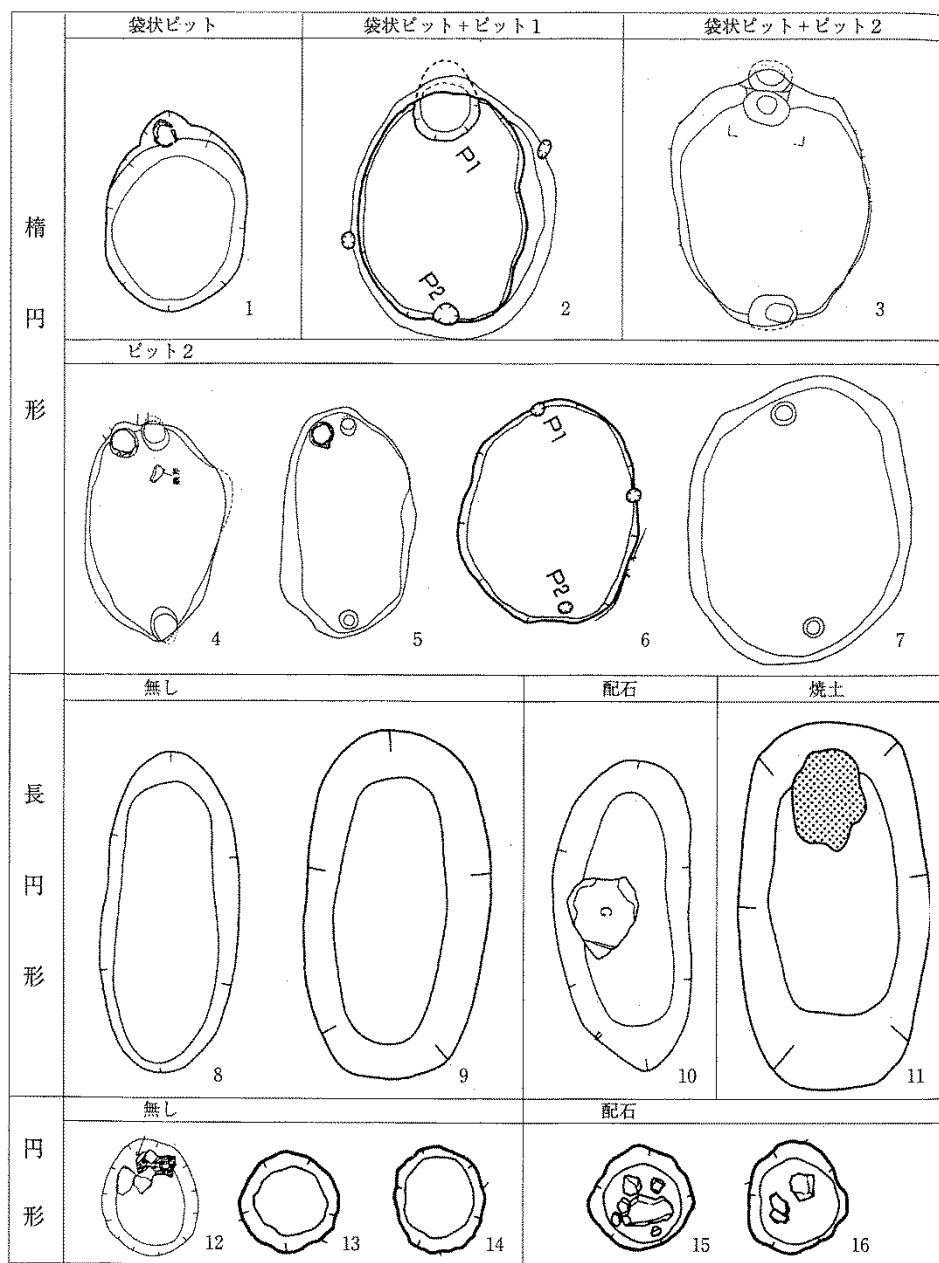


図 8 古墳時代の土墳墓配置



S = 1 / 50

1 長興寺 I、2・6 永福寺山、3～5・7 寒川Ⅲ、8・10 大石渡、9・10 仏沢Ⅲ、12 盲堤沢（3）、13～16 安倍館
図9 後北 C2-D 式期の土壙墓

引用文献（報告書等については表6を参照）

- 青山博樹 2010 「古墳時代前期の土器編年－仙台平野とその周辺－」『北社』辻秀人先生還暦記念論集刊行会
- 井上雅孝・早野浩二 2013 「岩手県岩手郡滝沢村大釜館遺跡出土の宇田型甕について」『筑波大学 先史学・考古学研究』第24号
- 宇部則保 2021 「東北北部型土師器について」『研究紀要』第10号八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館
- 木村高 1999 「東北地方北部における弥生系土器と古式土師器の併行関係」『研究紀要』4 青森県埋蔵文化財調査センター
- 木村高・鈴木信 2011 「古墳時代並行期の北方文化」『講座日本の考古学7 古墳時代（上）』青木書店

表6 岩手県統縄文出土遺跡文献リスト

報告書

編集機関	発行年	書名	シリーズ名
岩手県立博物館	2000	気仙郡住田町小松洞穴発掘調査報告書	岩手県立博物館調査研究報告書第16冊
岩手県教育委員会	1981	東北縦貫道自動車関連埋蔵文化財調査報告書XⅡ(石田遺跡)	岩手県文化財調査報告書第61集
岩泉町教育委員会	2006	豊岡Ⅴ遺跡―平成16年度発掘調査報告書―	岩泉町文化財調査報告第43集
一戸町教育委員会	1994	一戸町の遺跡(Ⅳ)平成5年度町内遺跡詳細分布調査報告書	一戸町文化財調査報告書第35集
一戸町教育委員会	1995	一戸町の遺跡(Ⅴ)平成6年度町内遺跡詳細分布調査報告書	一戸町文化財調査報告書第37集
岩手町教育委員会	2002	町内遺跡詳細分布調査報告書Ⅴ	岩手町埋蔵文化財調査報告書第15集
大迫町教育委員会	2000	大林Ⅱ遺跡発掘調査報告書	大迫町埋蔵文化財報告第22集
北上市教育委員会	1996	北上遺跡群(1995年度) 本宿・岩脇	北上市埋蔵文化財調査報告第23集
久慈市教育委員会	1988	中長内遺跡発掘調査報告書	久慈市埋蔵文化財発掘調査報告書第8集
滝沢村埋蔵文化財センター	2008	仏沢Ⅲ遺跡―平成2年度調査報告書―	滝沢村埋蔵文化財センター調査報告書第3集
滝沢村教育委員会	1993	大石渡遺跡	滝沢村文化財調査報告書第24集
滝沢村教育委員会	1986	湯舟沢遺跡	滝沢村文化財調査報告書第2集
滝沢村教育委員会	1987	高柳遺跡	滝沢村文化財調査報告書第7集
滝沢村教育委員会	1999	室小路土地区画整理事業発掘調査報告書―室小路Ⅰ・Ⅶ・Ⅺ・Ⅾ・ⅱ・ⅲ遺跡―	滝沢村文化財調査報告書第31集
大東町教育委員会	2004	大洞地遺跡発掘調査報告書	大東町文化財調査報告書29集
(財)岩手県埋蔵文化財センター	1982	二戸バイパス関連遺跡発掘調査報告書 二戸市長瀬B遺跡	岩手県埋文センター文化財調査報告書第36集
(財)岩手県埋蔵文化財センター	1983	叭屋敷Ⅰa遺跡発掘調査報告書	岩手県埋文センター文化財調査報告書第61集
(財)岩手県埋蔵文化財センター	1984	上斗内Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ遺跡発掘調査報告書	岩手県埋文センター文化財調査報告書第71集
(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1986	馬場野Ⅱ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第99集
(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1987	親久保Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第116集
(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1988	大久保遺跡・西久保遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第121集
(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1992	粧口Ⅰ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第175集
(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1992	上八木田Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第177集
(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1993	仁沢瀬遺跡群発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第185集
(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1993	館Ⅳ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第187集
(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1994	向館遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第206集
(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1995	大日向Ⅱ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第225集
(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1997	上鷹生遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第253集
(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1998	大日向Ⅱ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第273集
(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1999	芋田Ⅱ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第304集
(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2002	中半入遺跡・蝦夷塚古墳発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第380集
(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2002	長興寺Ⅰ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第388集
(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2009	平成20年度発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第546集
(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2014	沢田遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第626集
(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2017	西和野Ⅰ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第669集
普代村教育委員会	1998	太田名部遺跡 平成9年度緊急発掘調査報告書	普代村埋蔵文化財調査報告書第1集
盛岡市教育委員会	1986	盛岡市埋蔵文化財調査年報―昭和59年度―	
盛岡市教育委員会	1987	盛岡市埋蔵文化財調査年報―昭和62年度―	
盛岡市教育委員会	1989	上平遺跡群 猪去館遺跡―昭和63年度発掘調査概報―	
盛岡市教育委員会	1995	繫遺跡―平成5・6年度発掘調査概報―	
盛岡市教育委員会	1997	永福寺山遺跡―昭和40・41年発掘調査報告書―	
盛岡市教育委員会	1999	安倍館遺跡―厨川城跡の調査―	
盛岡市教育委員会	2002	盛岡市内遺跡群―平成13年度発掘調査概報―	
盛岡市教育委員会	2008	穂ノ木平遺跡 堰根遺跡―浅岸地区区画整理事業関連遺跡発掘調査報告書Ⅳ―	
野田村教育委員会	1987	古館山―昭和45年三日市場遺跡発掘調査報告書(遺物編)―	野田村文化財調査報告書
陸前高田市教育委員会	2016	愛宕下Ⅱ遺跡発掘調査報告書	陸前高田市文化財調査報告第30集

論文

執筆者	発行年	論文名	掲載誌他
井上雅孝	1996	滝沢村大石渡Ⅴ遺跡	第16回岩手考古学会研究大会発表資料
井上雅孝	2002	岩手県域における統縄文文化	第29回岩手考古学会研究大会発表要旨
井上雅孝・早野浩二	2013	岩手県岩手郡滝沢村大釜館遺跡出土の宇田型壺について	筑波大学 先史学・考古学研究第24号
小田野哲憲	1987	岩手の弥生土器編年試論	岩手県立博物館調査研究報告第5号
日下和寿	2010	小田島コレクションの洞窟遺跡資料について	岩手考古学第21号
斎藤邦雄	1993	岩手県にみられる後北式土器と在地弥生土器について	岩手考古学第5号
高橋昭治・武田良夫	1982	岩手県における後北式文化	北奥古代文化第13号
花井正香	2002	薬師社脇遺跡―古墳時代の土墳墓について―	岩手考古学会第28回研究大会発表要旨
吉田義昭・武田良夫	1970	江別Ⅲ式土器の分布	奥羽史談第55号